



ウガンダでの初めてのクリスマスと年越しについて

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ致します。みなさんはクリスマス、年末年始をどのように過ごしましたか？私は初めてのウガンダでのクリスマス、元日を校長先生の家で過ごしました。今回は私が体験したウガンダでのクリスマス、元日の様子をお伝えします。

ウガンダのクリスマスは日本の正月？



校長先生家族だけでなく、親戚や友達などたくさんの方が集まっていました。



部屋もクリスマス仕様に飾り付けされました。

ウガンダでのクリスマスは日本の正月のような雰囲気でした。家族だけでなく、親戚や友達など20人以上の人が集まっていました。みんなで教会へ行き、帰ってきてからごちそうを食べ、集合写真を撮り、雑談をして過ごしました。現地語で話すとても喜んでくれたので、現地語訓練が役立って良かったです。



校長先生宅の敷地はとても広く、牛もたくさんいました。牛に初めて触ったので怖かったです。



ライス、マトケ（甘くないバナナ）、じゃがいも、かぼちゃ、キャベツ、チキンなどいただきました。

クリスマスシーズンは交通費が高いので注意！



クリスマスシーズンは帰省する人が多いため、バスやタクシー会社は稼ぎどきです。11月末あたりからクリスマスにかけて交通費が高くなっていきます。2倍以上になる時もあるので、移動の際は交通費を多めに準備しておく必要があります。

カウントダウンは大盛り上がり

音楽を大音量で鳴らしたり、ブブゼラを吹いたり、花火をしたりとにかく年越しは盛り上がっている印象でした。私は夜外出していないため、音しか聞いていませんが、これらの音でなかなか寝付けませんでした。除夜の鐘を聞く日本の静かな年越しが懐かしく感じました。

元日はサッカー！



元日の午後は近くの広場でサッカーの試合をしていました。観客もたくさんおり、ブブゼラの音や歓声が遠くまで響いていました。サッカーゴールにはネットはなく、木を立てているだけですし、ラインはガソリンを垂らして引きます。裸足でプレーしている選手もいました。

足元をよく見ると・・・



ペットボトルがたくさん落ちています。首都や大きな街にはゴミ箱が置いてあり、比較的キレイですが、農村地域はゴミがよく落ちています。こんな中サッカーをしています。



大きな都市では、街なかにゴミ箱が置いてあります。

あとがき

校長先生家族みなさん歓迎してくれたので、クリスマスも元日もとても良い時間を過ごすことができました。料理はクリスマスも元日も同じようなものを食べました。日本は正月におせち料理やお雑煮を食べるなど、季節や行事ごとに食べるものがたくさんありますよね。日本の良さにまた1つ気づきました。

